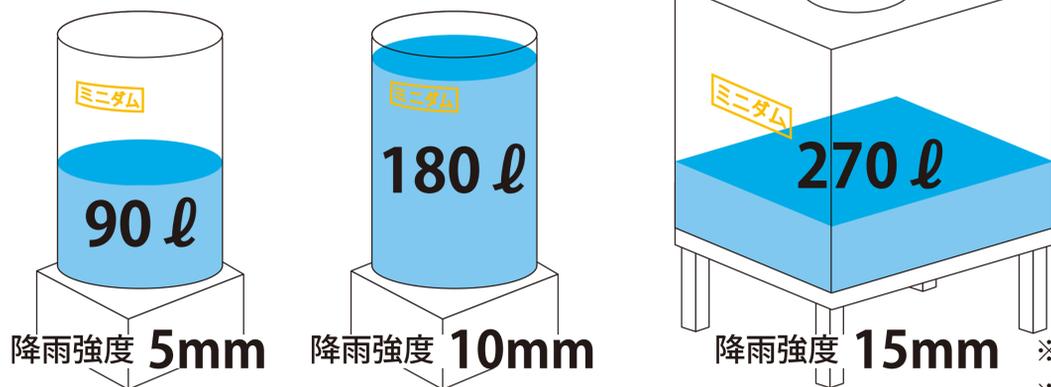


雨水を貯めて、災害に備え、地球環境を守ろう！



雨水は自前の水源、こんなに貯まる！

1時間で貯まる目安



降雨強度と雨の様子

- 5mm 地面に水溜りができる
- 10mm 雨の音が聞こえるようになる
- 15mm 雨音で話が聞き取りにくくなり、地面一面に水溜りができる

※集水屋根面積が 25 m² (六畳二間+a) の場合
 ※雨が一定に降った場合の値で、降り方によって変動します。

ちくう “蓄雨” しよう！ その効果は

(日本建築学会編集：AIJES より引用)

屋根に降り注ぐ太陽光で発電し蓄電するように、屋根に降り注ぐ雨水を敷地内に「ストック」して活用しよう。するとその利益は、あなただけでなく公共にも及びます。

利水

河川上流の巨大ダムに依存するだけでなく、軒下に小さな“ミニダム”＝“自前の水源”を設けると、雨水が有効に利用できる。

環境

地面に浸透させた雨水を大気に蒸散させると、ヒートアイランドの抑制に役立つ。雨水利用で上下水道にかかるエネルギーが削減できて、CO₂ 排出も抑制できる。

防災

貯めた雨水は初期消火に、また非常時の生活用水として、命を守るためにも利用できる。

治水

一時的な豪雨の時に、各家庭で雨水を貯めていると、雨水の急激な下水道流入を防ぎ、都市型洪水の防止に役立つ。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ちくう “蓄雨” で目指す SDG's のゴール

